

校長室通信 「かんがえるあし」

古 考える葦

下野市立古山小学校
校長室インフォメーション
令和2年度 NO. 8
令和2年11月1日
発行責任者 梶原 和子



秋も深まってきました。これからは、インフルエンザも心配な季節になってきましたね。でも学校は、少しずつ活動の幅が広がって参りました。既に児童表彰、遠足や社会科見学も実施しました。今月には修学旅行、運動会も行う予定です。先月号でも書きましたが、学校行事は「学習」ですので、その過程が重要であり、最終的に充実感を子どもたちが十分に味わえることが目的です。もちろん、感染症の状況にもよりますが、少しでも通常の学校生活が送れるよう、そして、本校の子どもたちが学校生活に充実感を感じることができるよう努めて参ります。

さて、このコロナ禍、なかなか生活も今まで通りというわけにはいかず、ストレスが溜まり、幸福感を感じる事が少なくなっている人も多いのではないのでしょうか。私も、最近楽しいことがないな、など感じる事が増えてきました。そんなとき、分析心理学で有名なカール・グスタフ・ユングの「人生の幸福の5つの条件」を思い出しました。

- ①健康であること ②ほどよい程度のお金があること
- ③美しいと感じる能力があること ④人と仲良くしていく能力があること
- ⑤朝起きたとき、やらねばならない仕事があること

言っていることは、平凡なことばかりです。でも、改めて考えてみると大切なことと感じました。①はもちろんです。②の「ほどよいお金があること」この「ほどよい」は個人によって違うでしょう。③どんな景色を見ても、音楽を聴いても美しいと感じない人や、散らかり放題で汚れていても気にならないというのでは、幸福ではないようです。④は学校で、社会で生きていく上で大切な条件ですね。⑤については、私もですが、皆さんも仕事や勉強に追われて苦しい、辛いと愚痴りがちですが、” することがある” ありがたさをこの機会にじっくり味わってみるのもいいかもしれませんね。本市の「当たり前前」の事を「当たり前」にやる、そしてそれができる日常こそが、実は幸せなのだと思えました。

『下野市新聞の日』を実施しました



10月20日（火）は、『下野市新聞の日』第2回目です。児童全員に下野新聞が無償で提供され、それを活用して活字媒体に慣れ親しんだり、社会の情勢に興味・関心をもったりすることを期待した事業です。10月20日から23日までの朝の学習の時間に、先生の読み聞かせや新聞の形式を調べたり、言葉や気になった記事について感想等書いたりしました。子どもたちは、それぞれお気に入りの記事を見つけ、楽しそうに友達に紹介したり、説明したりしていました。



令和2年度「下野市児童表彰式」が挙行されました

10月14日（水）下野市児童表彰が挙行され、下野市長様、下野市教育委員会教育長様より6年生78名にメダルと表彰状が贈られました。表彰式ではお招きした6年生の保護者の方々にも、子どもたちを祝っていただきました。表彰状には、「明朗賞」「健康賞」「努力賞」「体育賞」「親切賞」「学芸賞」「友情賞」があり、6学年担任が日々の学校生活の中で気づいた各人の努力したことや、良さ、個性を捉え児童一人一人に思いを込めて選びました。

また、市長様から6年生に向けて「式に臨む態度がとても素晴らしい。カッコいい6年生です。」とお褒めの言葉をいただきました。私から見ても本当に立派な態度でした。保護者の皆様のごこれまでのご努力のおかげです。メダルと表彰状を受け取った児童の顔は、これを機にまた頑張るぞという意気込みが表れていました。いただいた銅メダルがこれからどんどん輝いて、いずれ金に輝くような人生を送って欲しいと心より願っています。



おめでとうございます

本校の高橋真江先生が、この度「令和2年度とちぎ教育賞」を受賞されました。先生は、学力向上推進リーダーという役割があり、本校のみならず、石橋地区全ての小学校において、児童の学力の向上について様々な取組をしてくださっています。この度、その功績が認められ、表彰されることとなりました。本当におめでとうございます。



新たに3人の先生が古山小学校に来てくださいました

10月1日（木）から、3人の先生が古山小学校で一緒にお仕事をしてくださることになりました。よろしくお願ひします。



左から
菅又 純子先生
佐藤 菜宏先生
伊沢 美穂先生



※ 児童の活動の様子や学校行事等については、学校ホームページに掲載してありますのでぜひご覧下さい。
学校HPアドレス http://www.school.shimotsuke.ed.jp/e_school/koyama/

